

新製品情報

イサム ビーストスプレーガン37MUGNUM 新登場！

大好評のビースト専用スプレーガンに新たなモデルが
加わりました。重力式上カップガンとしては**世界一と
なる146g/minの塗料流量**を達成しました。

この流量を可能にしたの**3.7mmの大口径ニードル&ノ
ズル**。ハンドガンの限界に挑んだ大口径と抵抗の少な
い直下型センターカップの組み合わせにより、従来の
ビーストスプレーガン（3.0mmサイドカップ 塗料流
量75g/min）と比較して95%UPを達成しています。

ビーストスプレーガン 37 マグナム



ビースト模様の大きさ適正、ビーストチッピング塗装適正 一覧表

	極小	小	中小	中	大	特大	チッピング 塗装適正
シュツツガン A-20ST 				←→			×
ビーストスプレーガン 37MAGNUM 	←→						◎
ビーストスプレーガン 3.0 	←→						○

塗料カップは上記写真の
A Sペイントライナー
カップシステムがお勧め
です。また恵宏製作所の
FORTEスプレーガン用
カップも使用できます。

上記の表を参考に、ビーストで再現したい模様の大きさにあわせて、スプレーガンを選定いただけます。

トピックス

国土交通省 標準作業時間の調査をTUVへ委託

国土交通省は車体整備事業者による事故車修理の適切な価格交渉を促進するため、昨年7月「価格交渉に関する情報窓口の設置」、今年3月の「車体整備事業者向けのガイドライン発表」と施策を順次展開してしますが、今回、事故車修理の価格決定に用いられる「標準作業時間」の調査について、TUV認証金業の一つである「テュフラインランドジャパン」に委託することを決定しました。調査結果は2025年度内の公表を目指し、今後の政策に反映させるほか、損害保険会社や自研センターなどとの対話にも活用する考えです。

事故車の修理工賃を算出に欠かせない「標準作業時間」ですが、損保各社が出資している自研センターにて、一定条件下で車種別に作成した「指数」が事実上スタンダードになっています。ただし指数に強制力はなく、事業者によっては海外の資料などをベースにした作業時間を用いて修理工賃を算出するケースも存在します。

以前より国交省には「指数が前提としている作業時間は修理作業の実態を反映していない」との声が、車体整備事業者から多く寄せられていました。そのため、海外の指数策定方法も参考にしながら、客観的・科学的に標準作業時間を把握する必要があると判断し、上記の通り第三者機関であるTUV・テュフラインランドジャパンに調査委託を決めたようです。